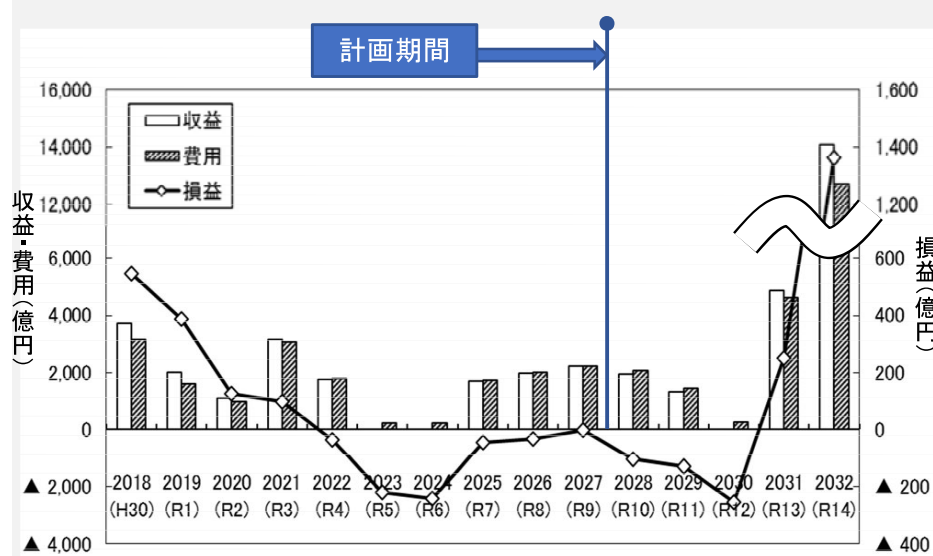
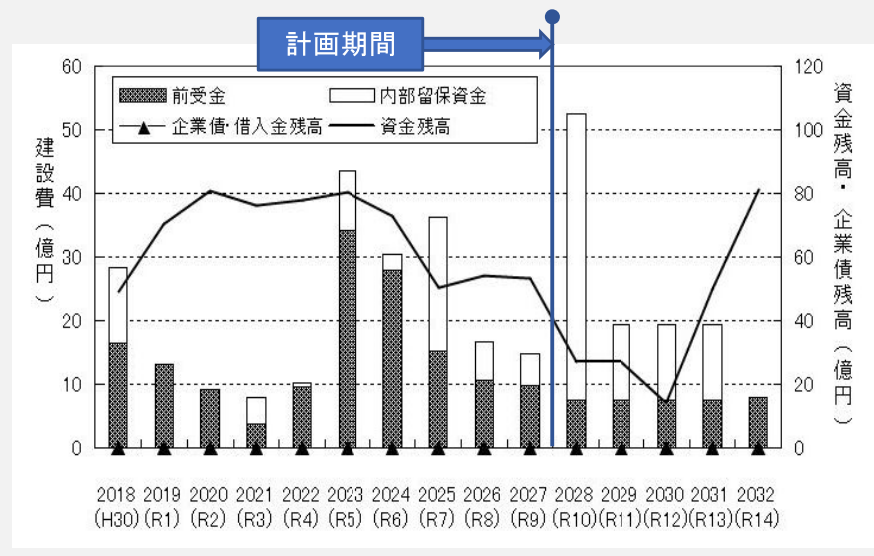


# 第6 財政収支計画（地域振興整備事業）

収益・費用・損益



建設改良費と資金残高・企業債残高



<2022(R4)~2032(R14)年度の用地造成目標（完成ベース）>

年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032
地区数	1	-	-	1	2	1	1	1	-	2	1
面積	5.7ha	-	-	5.5ha	8ha	7ha	10ha	18ha	-	28.4ha	31ha

○収支

- ・ 主な収益は完成した工業用地の引渡に伴う土地売却収益、費用は工業用地の売却に係る土地売却原価
- ・ 比較的小規模な工業用地の売却が続くR12までは赤字基調となるが、工業用地毎に収益を確保

○建設改良費・資金残高

- ・ 自己資金を活用したセミ・レディーメード方式による造成工事に着手するためR5以降は資金残高が減少
- ・ R5、R10はそれぞれ2地区で用地買収を行うため建設改良費が増加
- ・ 全ての工業用地の分譲が完了するR14には資金を回収

# 第7 計画の推進

- 進行管理
  - ・ 年度毎に実績の評価・検証を適切に行い、必要に応じ計画の見直しを実施
- 計画推進方策
  - ・ ユーザー（企業、市町）、団体等との連携強化による事業推進
  - ・ 広報公聴活動の充実強化
  - ・ 庁内関係部局、国、関係団体に計画を周知し、支援・協力を要請
  - ・ 「創意工夫・コスト削減事例集」の活用により、全ての職員が経営革新に取り組むような好循環の実現
- 計画の検証と評価
  - ・ 「企業局経営戦略会議」において、各事業の実施状況、指標（数値目標等）の進捗状況を毎年度検証し、評価を実施
  - ・ 検証に当たっては、必要に応じ、担当者で構成するワーキンググループを開催
  - ・ 計画の進捗状況の評価結果を、外部有識者で構成する「企業局経営評価委員会」に報告
- 進捗状況の公表
  - ・ 計画の進捗状況を企業局ホームページ等で公表